

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 2 年 4 月 9 日 (2020.4.9)

【公開番号】特開 2020-28608 (P2020-28608A)
 【公開日】令和 2 年 2 月 27 日 (2020.2.27)
 【年通号数】公開・登録公報 2020-008
 【出願番号】特願 2018-157251 (P2018-157251)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 2 月 13 日 (2020.2.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

演出を実行可能な演出実行手段と、

効果音を出力可能な音出力手段と、を備え、

前記演出実行手段は、

前記有利状態に制御されることを示唆する示唆演出と、前記示唆演出の実行に対応して所定動作を行い演出表示の表示態様を変化させる所定演出と、を実行可能であり、

遊技状態の制御期間に関する情報を表示可能であり、

前記所定演出として、第 1 特別態様による演出表示を表示した後に第 1 所定動作を行う第 1 所定演出と、第 2 特別態様による演出表示を表示した後に第 2 所定動作を行う第 2 所定演出と、があり、

前記第 1 所定演出が実行されるときと前記第 2 所定演出が実行されるときとで前記有利状態に制御される割合が異なり、

前記第 1 所定演出の前記第 1 所定動作と前記第 2 所定演出の前記第 2 所定動作とは、遊技状態の制御期間に関する情報を表示する領域と共通の所定表示領域にて行われ、

前記第 1 所定演出の効果音と前記第 2 所定演出の効果音とは、異なり、

前記示唆演出として、第 1 示唆演出と、第 2 示唆演出と、があり、

前記演出実行手段は、

前記第 1 所定演出における前記第 1 所定動作により演出表示が第 1 所定態様に变化したときに前記第 1 示唆演出を実行可能であり、

前記第 2 所定演出と前記第 2 示唆演出とを並行して実行可能であり、

前記第 2 示唆演出の実行期間に、前記第 2 所定演出における前記第 2 所定動作により演出表示が第 2 所定態様に变化し、

遊技状態の制御期間に関する情報が前記所定表示領域に表示されている期間は、遊技状態の制御期間に関する情報が前記所定表示領域に表示されていない期間よりも前記所定演出の実行割合が低い

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 6

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

手段 A 1 の遊技機は、

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

演出を実行可能な演出実行手段と、

効果音を出力可能な音出力手段と、を備え、

前記演出実行手段は、

前記有利状態に制御されることを示唆する示唆演出と、前記示唆演出の実行に対応して所定動作を行い演出表示の表示態様を変化させる所定演出と、を実行可能であり、

遊技状態の制御期間に関する情報を表示可能であり、

前記所定演出として、第 1 特別態様による演出表示を表示した後に第 1 所定動作を行う第 1 所定演出と、第 2 特別態様による演出表示を表示した後に第 2 所定動作を行う第 2 所定演出と、があり、

前記第 1 所定演出が実行されるときと前記第 2 所定演出が実行されるときとで前記有利状態に制御される割合が異なり、

前記第 1 所定演出の前記第 1 所定動作と前記第 2 所定演出の前記第 2 所定動作とは、遊技状態の制御期間に関する情報を表示する領域と共通の所定表示領域にて行われ、

前記第 1 所定演出の効果音と前記第 2 所定演出の効果音とは、異なり、

前記示唆演出として、第 1 示唆演出と、第 2 示唆演出と、があり、

前記演出実行手段は、

前記第 1 所定演出における前記第 1 所定動作により演出表示が第 1 所定態様に変化したときに前記第 1 示唆演出を実行可能であり、

前記第 2 所定演出と前記第 2 示唆演出とを並行して実行可能であり、

前記第 2 示唆演出の実行期間に、前記第 2 所定演出における前記第 2 所定動作により演出表示が第 2 所定態様に変化し、

遊技状態の制御期間に関する情報が前記所定表示領域に表示されている期間は、遊技状態の制御期間に関する情報が前記所定表示領域に表示されていない期間よりも前記所定演出の実行割合が低い

ことを特徴とする遊技機。

手段 S 1 の遊技機は、

遊技者にとって有利な有利状態（大当り遊技状態）に制御可能な遊技機であって、

前記有利状態に制御されることを示唆する示唆演出（擬似連演出、期待度予告演出）を実行可能な示唆演出実行手段（演出制御用 CPU 120）と、

前記示唆演出の実行に対応して所定動作（数値の減算を行うカウントダウン動作、数値の加算を行うカウントアップ動作）を行い演出表示の表示態様を変化させる所定演出（カウントダウン演出、カウントアップ演出）を実行可能な所定演出実行手段（演出制御用 CPU 120）と、を備え、

前記所定演出実行手段は、前記所定演出として、

第 1 特別態様による演出表示（初期値として定められている「3」）を表示した後に所定動作（減算、カウントダウン動作）を行う第 1 所定演出（図 13 - 9（2）～（5）に示すように、サブ液晶表示器 35 T M 3 0 0 に初期値として定められている「3」を表示した後に、カウントダウン動作が行われることにより、数値の減算を行うカウントダウン演出）と、

第 2 特別態様による演出表示（初期値として定められている「70」）を表示した後に所定動作（加算、カウントアップ動作）を行う第 2 所定演出（図 13 - 11（14）～（17）に示すように、サブ液晶表示器 35 T M 3 0 0 に初期値として定められている「70」を表示した後に、カウントアップ動作が行われることにより、数値の加算を行うカウントアップ演出）と、を実行可能であり、

前記第 1 所定演出が実行されるときと前記第 2 所定演出が実行されるときとで前記有利状態に制御される割合が異なる（図 13 - 7（H）、（I）に示すように、カウントダウン演出が実行されるときよりも、カウントアップ演出が実行されるときの方が、大当たり期待度が高い）

ことを特徴とする遊技機。

このような構成によれば、所定表示領域において何れの所定演出が実行されるかに注目させ、興趣を向上させることができる。